

# 国府演JOY祭プロジェクトを通じた学びの充実



学校	学校運営協議会	地域学校協働活動推進員等数 (赤字は内学校運営協議会委員数)	地域学校協働本部
府中市立 国府小学校	国府小学校学校運営協議会 平成30年4月1日 設置	地域学校協働活動推進員 0名 0名 地域コーディネーター 2名 2名	Kネット



## 取組の背景及び目標や目指す姿

### 背景

・地域のつながりの希薄化が課題となっており、地域・学校・家庭がお互いに学校や子供の話をする機会がなかった。  
 ・地域、学校、PTAがそれぞれ行事を行っていたが、地域による「公民館まつり」には、高齢者は多いが若い人が集まらない、学校での「音楽発表会」やPTAによる「読書まつり」には地域の人に参加できないなど、地域全体で繋がる場がなかった。

### 目標や目指す姿(学校)

自ら考え、自ら進んで社会貢献できる自律した児童

### 目標や目指す姿(地域)

知り合う・分かり合う・つながり合う  
 (地域を愛し、たくましく生き抜く子供を育成)



## 国府小学校学校運営協議会の 特徴

### 委員の立場や属性等

- |                                 |                                 |
|---------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 公民館関係者 | <input type="checkbox"/> 自治会関係者 |
| <input type="checkbox"/> 学識経験者  |                                 |
| <input type="checkbox"/> PTA代表  | など、計 <b>15</b> 名で構成             |
| <input type="checkbox"/> 学校関係者  | 年間平均 <b>4</b> 回程度開催             |

### 効果的な運営の工夫

・地域コーディネーターとして中心的な役割を果たしている会長(毎朝、校門で登校挨拶を実施)と公民館長(学校に隣接)が、校長と日常的に対話することを通して、タイムリーな課題共有や対策検討・実行ができています。  
 ・学校運営協議会の委員として学校管理職に加えてCS担当教員が所属するとともに、協議会に市教育委員会の担当指導主事が毎回参加することで、学校・児童の具体的な課題や市教育委員会の方針などを踏まえた具体的な熟議ができる体制を整えている。



## 特徴的な取組と成果・効果

### 学校運営協議会

主催の異なる3つのイベント(公民館まつり、音楽発表会、読書祭り)を1つにした「国府演JOY祭」を企画。「自分たちも企画運営に参加したい」という児童の発案で、6年生が企画案のプレゼンを実施。学校運営協議会の委員が児童に助言をしながら、協働して、よりよい企画へとブラッシュアップしていった。



国府演JOY祭の企画会議

### 地域学校協働活動

「国府演JOY祭」に向けて、総合や各教科の中で、児童が地域の様々な人の意見を聞きながら、「自分達がやりたいことではなく、どうすれば地域のつながりを育むことができるか、そのための催し物は何か」などを考えながら、学校と地域がWin-Winとなる協働活動を実施した。



演JOY祭当日の様子

### 「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等

[目標・課題の共有]・学校運営協議会のもとに「国府演JOY祭」を企画運営するイベント部会を設置し、学校運営協議会の委員と各クラスのPTA役員、教員、地域住民が当該部会に所属して対話を重ねることで、関係者全員で学校・地域の目標・課題を意識しながら地域・学校・保護者がスムーズに連携協働できる体制を整備している。

## 取組

## 成果・効果

○地域と協働した「国府演JOY祭」の企画立案・運営実行について、総合的な学習の時間を軸に各教科と連動させたカリキュラム・マネジメントによって教育課程に位置付けて実施することで、学習者の資質・能力の育成に寄与している。  
 ○「国府演JOY祭」の企画・運営を通して、学校と町内会・公民館といった地域コミュニティとの強固な繋がりがやPTAを軸とした保護者の参画意識が生まれ、地域と共にある学校としての持続可能な体制が構築できた。  
 【学習内容】・各学年でのブース発表に向けて、各教科や総合的な学習の時間の中で関連する取組を実施  
 ～国語：プレゼン説明文作成、社会：地域密着型の社会見学・発信、生活：町探検、音楽：器楽演奏、体育：熱中症対策発表等  
 ～発表テーマ「3年：府中の魅力知ってるかい?」「4年：誰もが住みよい町」「5年：府中家具をPRしよう」等  
 ・6年生を中心とした演JOY祭の運営構想・準備(「広報・グッツチーム」「会場設営チーム」「特別展示チーム」「総務チーム」)  
 【主な成果】・「自分の住んでいる地域のことが好きか」という意識調査に肯定的回答の児童割合：96.2%(県平均89%)  
 ・「地域や子供会などの行事に参加している」という意識調査に肯定的回答の児童割合：83.9%(県平均53%)  
 ○子供の学びを核とした新たな地域行事を学校と地域が協働して創造し、毎年、試行錯誤しながら企画・運営していく過程を通して、地域住民同志の繋がりが増え、地域活動の衰退化や人間関係の希薄化などの地域課題の解消に寄与している。  
 【主な成果】 国府演JOY祭への参加者数：約1,600名(前年比約400人増)